

ごあいさつ

北海道ブロック大会開催にあたって

自然栽培全国普及会事務局

田辺寛雄

みなさん！

北の大地で自然な本来の農業・食を求めて日々取り組んでいらっしゃる自然栽培農家のみなさん！

日夜、苦悩のあることと思います。

北海道という場所で、農薬や肥料に頼らず営農することは本当に難しいことと思います。もちろん、年々変化していく田畑の土、植物の姿に確かな手ごたえを感じていらっしゃる方もあることと思います。一方で年々、収穫量が落ちていくことに不安を覚える方もあることだと思います。

今！全国でもさまざまな自然栽培の実践が行われ、「これならできる！」という型が散見されてきました。



高橋博氏の自然栽培 35年のほ場で美しく育つ大根

そこで！

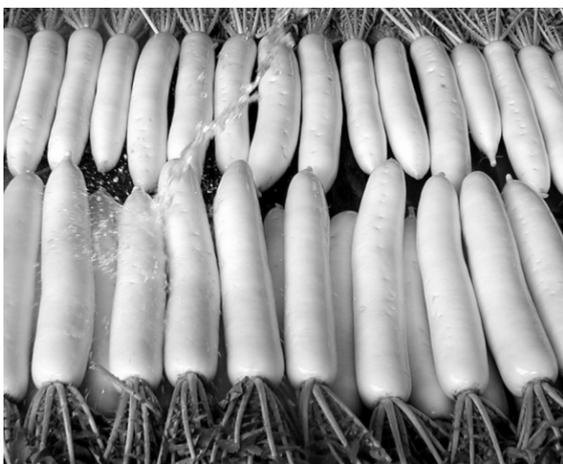
北海道を含めた全国の実践、経験のもととなるエッセンスを共有すべく北海道ブロック大会を開催させていただくことにいたしました。

たとえば

自然栽培全国普及会 高橋博会長の畑では 35 年、肥料や農薬に頼らず 3 町歩の面積で営農ができています。今年も 35 年目の畑で、肥料・農薬を使わず大根が育っています。

その姿は本当に美しいものがあります。

近所の人々が驚くほどに、夜中肥料ふっているんじゃないかと疑っても、肥料を買っている姿も見ないので、いぶかるほどです。まして草も少なくなってきました。「いったいどうして？」普通なら思うことだと思います。でも、そうなる秘訣があるのです……！



高橋博氏の自然栽培だいこん

高橋氏だけではありません。

九州ブロック・中国・四国ブロック・近畿ブロック・関東ブロック・東北ブロックと先駆者を中心に、研鑽が活発に行われ、結果が出始めてきています。

九州では富田ブロック長・川越副ブロック長を中心に、古くから取り組まれる方も多く、理念・原理原則と技術研鑽が進んでいます。自然栽培成功のカギと言われる「肥毒」をいかに早く解決するかを徹底的に取り組んでいる方もいらっしゃいます。3年は土づくりに徹するといって肥毒を抜き、えん麦を南国の温かさを活用して年2回から3回栽培し、腐植を徹底的に入れる実践をされています。その結果、作物が順調に育ちはじめているのです。



川越俊作氏の自然栽培しょうが

ウンカの害にあう田んぼと、あわない田んぼ

富田さんをはじめとする自然栽培農家の田んぼには、西日本に大発生したウンカもほとんど姿をあらわすことはなく、目立った被害になりませんでした。自然栽培の田んぼにはウンカが集まる原因がなかったこととなります。さらに苗土に有機肥料を使っている稲の方が、本田に入ったときウンカの被害が大きくなっていると富田さんはおっしゃいます。

富田さんだけではなく、西日本の各地の農家さんのところでウンカの害に対する違いがみられました。

しかし、虫や病原菌が出るには意味があります。その意味を理解し分析する必要があります。そのためのヒントを今回のセミナーで共有させていただきます。



ウンカの害にあう一般栽培の熊本県の田んぼ



近くの自然栽培の田んぼはウンカの害がない

道 法正徳中国・四国ブロック長はいいます。

「植物は肥料で育つのではない」。植物は第一に「水」、第二に「温度」、三四がなくて五に「光」で育つのだと。植物がそもそも持つ、植物ホルモンの働きによって成長するのだといます。農学をベースにした広島果実連の普及員だった道法氏が、700件を超える農家の事例をみながらたどり着いた常識とは逆の答えでした。結果、肥料はいらないということに辿り着かれたのです。

ま た各地に稲作で十分に営農可能な姿が現れてきました。秋田県の石山範夫氏をはじめとする大潟村自然栽培普及会のメンバーがいます。宮城・岩手から九州まで、約30人の実施農家がいらっしゃいます。兵庫県の畑氏、奈良県の木戸氏をはじめとして、自然の摂理を活かしてさまざまなスタイルで営農されています。

全 国には私たちがお付き合いのあるだけで150人に及ぶ自然栽培農家さんがいらっしゃいます。150人分の実践に触れることなど、なかなかできるものではありません。今回、すべて共有することは不可能ですが、その元となる捉え方を高橋会長と河名副会長より共有させていただきます。

もちろん北海道において

あなたがこれまで積み上げてこられた経験は、本当に尊いものです。その経験の中に集う方々の刺激になることがあふれていると思います。そうしたことをぜひ、共有する場を作らせていただきたく、今回、北海道ブロック大会を開催させていただくことにいたしました。

北海道は違う！

あなたは思うかもしれません。

大規模な北海道はほかとは違うと……！

でも、自然の原理を求め、現場に応用する姿勢は場所を問いません。他の生産者の経験をあなたの現場に応用することはできることだと思うのです。



自然栽培で自家採種された種（マスタードグリーン）

あなた様の取り組みは

間違いなく将来の希望、未来へのともし火です。

必ず後につづく方々があなたの取り組みをみて現れること
と思います。

農村の課題は山済みです。

しかし、誰かが解決策を示していく必要があります。誰かが
未来に渡すべき農業の型をしめしていかなくてはなりません。
そのためにも、みなさんにはなんとしても成功していただ
かななくてはなりません。



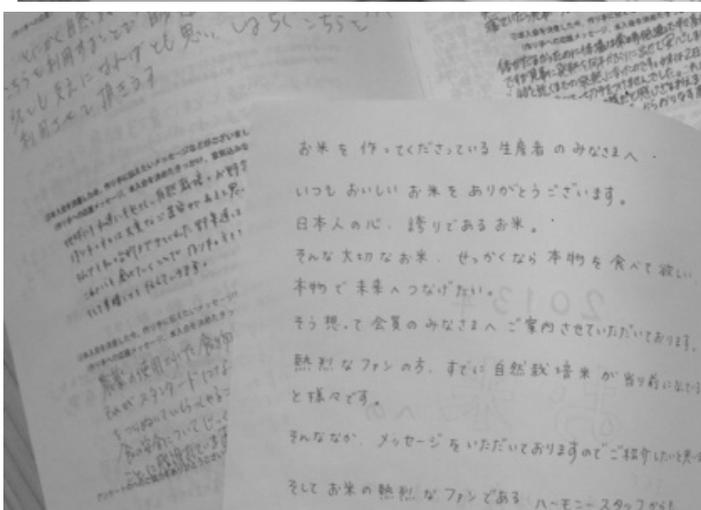
北海道 農民となった武士たち

鳴りやまぬ声

私たち普及会の事務局をしているナチュラル・ハーモニーのオフィス（事務所）には、365日とだえることなく、食べてくださる方々からのよろこびの声が届きます。本当に絶え間なく届くのです。

これってすごいことだと思いませんか!!

毎日、毎日、わざわざペンをとって、ファックス代金がかかるにもかかわらず、声を届けてくださいます。毎朝、朝礼で読み上げるのですが、声が届かない日がありません。本当にありがたくてなりません。



全国から寄せられる声

私たちが語れる事実＝食の力

自然栽培のお野菜・お米には人の人生を変えるだけの力、ストーリーがあります。これは事実です。私たちがこの仕事をさせていただいて、自信をもって語れる事実なのです。

あなたの取り組みはあなたの思いと行動一つで、食べる人の人生にまで影響してしまう尊い取り組みだと思うのです。

品質の差

しかし、正直その取り組み方によって野菜の品質に違いが出てきているのも事実です。その土地、その気候、そのタネ、その栽培、その人によって当然ながら作物の姿はかわります。でも、なるべく良いも悪いも共有して一緒に向上していきたいと思うのです。

だからこそ、集りたい！

だからこそ、集まって確認し合いたいと思うのです。

うまくいっている事例にはそれはそれで意味があります。

そして失敗の中にこそ、自然と私たちのずれを確認できます。

お忙しいことは十分に承知していますが、ぜひともご参加いただき会場でお目にかかるのを楽しみにしております！